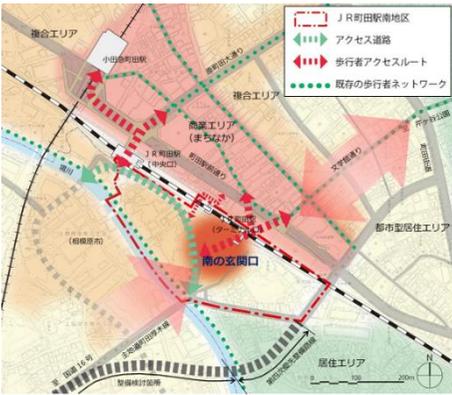


(仮称) JR町田駅南地区まちづくり整備方針(素案)【概要版】からの変更点について

※下線部が修正箇所、ページ番号は新しい整備方針のものです。

項	旧(素案 2017年12月15日公表)	新	理由
目次	2. JR町田駅南地区整備の課題 4. まちづくりの整備方針	2. <u>JR町田駅南地区のまちづくりの課題</u> 4. <u>まちづくりの方針</u>	記述の見直し
P 2	2. JR町田駅南地区整備の課題 ○JR町田駅ターミナル口南側直近の低未利用地の有効活用が必要 ○原町田自由通路の視認性と快適性の向上による、ターミナル口の利用増進と南北のアクセス強化が必要 ○駅前の歩行者空間や憩いの空間が必要 ○駅前にふさわしい魅力的な景観の形成が必要 ○多様な世代の居住を支える都市型住宅と生活関連サービス等の充実が必要 ○来街者の更なる増加を見据えた災害対策が必要 ○老朽化した市営原町田一丁目駐車場の早期建替えが必要 ○相模原市と連携したJR町田駅南側の交通基盤づくりの検討が必要	2. <u>JR町田駅南地区のまちづくりの課題</u> ○JR町田駅ターミナル口南側直近の低未利用地の有効活用 ○原町田自由通路の視認性と快適性の向上による、ターミナル口の利用増進と南北のアクセス強化 ○駅前の歩行者空間や憩いの空間の創出 ○駅前にふさわしい魅力的な景観の形成 ○多様な世代の居住を支える都市型住宅と生活関連サービス等の充実 ○来街者の更なる増加を見据えた災害対策 ○老朽化した市営原町田一丁目駐車場の早期建替え ○相模原市と連携したJR町田駅南側の交通基盤づくりの検討	記述の見直し
P 2	3. まちづくりのコンセプト ～南の玄関口のまちづくり～ まちなかを訪れ、楽しみ、活動する人と、駅周辺で暮らし、住み続ける人を増やす 	3. まちづくりのコンセプト 南の玄関口のまちづくり ～まちなかを訪れ、楽しみ、活動する人と、駅周辺で暮らし、住み続ける人を増やす～ 	・記述の見直し ・土地利用方針図の既存の歩行者ネットワークを一部追加

項	旧（素案 2017年12月15日公表）	新	理由
P 3	<p>4. まちづくりの整備方針</p> <p>○うるおいと賑わいのある広場空間の創出</p> <p>地域住民の日常の憩いの場として、来街者の滞留の場として、緑豊かな広場空間を創出します。</p>	<p>4. <u>まちづくりの方針</u></p> <p>○うるおいと賑わいのある広場空間の創出</p> <p>地域住民の憩いの場として、来街者の滞留の場として、<u>緑豊かな広場空間を創出し、市民や来街者の交流の促進や、防災性の向上を図ります。</u></p>	<p>・記述の見直し</p>
P 3	<p>方針2：まちなかへのアクセスの強化</p> <p>○自由通路への視認性の確保と快適性の向上</p> <p>初めて訪れる人にもわかりやすいよう自由通路の視認性を確保します。</p> <p>○市営駐車場の更新</p> <p>誰もが利用しやすい明るく快適な駐車場として再生します。</p>	<p>方針2：まちなかへのアクセスの強化</p> <p>○自由通路への視認性の確保と快適性の向上</p> <p><u>既存歩行者ネットワークとの連続性や、広場空間とのつながりに配慮した、通りたくなるような快適で魅力ある自由通路の実現を目指します。</u></p> <p>○市営駐車場の更新</p> <p><u>駅直結の立地を活かし、車で訪れる人が車を降りてスムーズにまちなかへアクセスできる環境を整えます。</u></p>	<p>・記述の見直し</p>
P 3	<p>■複合拠点ゾーン</p> <p><再開発等による土地利用増進を図るゾーン></p> <p>市営原町田一丁目駐車場の機能更新（建替え）とあわせて、隣接する低未利用地を含めた土地の合理的かつ健全な高度利用を推進し、複合的な機能を持つ拠点を整備します。</p> <p>当地区のまちづくりの実現に向けて、先行的に市街地再開発事業等の検討を進めます。</p>	<p>■複合拠点ゾーン</p> <p><再開発等による土地利用増進を図るゾーン></p> <p>市営原町田一丁目駐車場の機能更新（建替え）とあわせて、隣接する低未利用地を含めた土地の合理的かつ健全な高度利用を推進し、<u>多くの交流人口・定住人口を迎え入れる場として、</u>複合的な機能を持つ拠点を整備します。</p> <p>当地区のまちづくりの実現に向けて、先行的に市街地再開発事業等の検討を進めます。</p>	<p>・表現の見直し</p>

項	旧（素案 2017年12月15日公表）	新	理由
P 3	<p>■歩行者アクセスルートの再整備</p> <p>○原町田自由通路</p> <p>明るく快適な自由通路となるようリニューアルを行います。</p> <p>複合拠点ゾーンの整備にあわせて、ケヤキ並木からの歩行者空間の連続性の確保と、自由通路の視認性の向上を図ります。</p> <p>歩行者と車の動線を分離することにより、安全で快適な歩行者空間を確保します。</p>	<p>■歩行者アクセスルートの再整備</p> <p>○原町田自由通路</p> <p>明るく快適で<u>魅力ある</u>自由通路となるようリニューアルを行います。</p> <p>複合拠点ゾーンの整備にあわせて、ケヤキ並木からの歩行者空間の連続性の確保と、自由通路の視認性の向上を図ります。</p> <p>歩行者と車の動線を分離することにより、安全で快適な歩行者空間を確保します。</p>	表現の見直し
P 4	<p>5-3. 魅力ある都市景観の形成</p> <p>「商都」としてにぎわう町田駅周辺の立地と、ケヤキ並木や境川など地域の景観資源を生かし、北側の商業集積地とは異なる落ち着いた雰囲気を残しながら、新たな魅力を加え、活気や賑わいのある景観を実現するとともに、回遊性や快適性の向上を図ります。</p>	<p>5-3. 魅力ある都市景観の形成</p> <p>「商都」としてにぎわう町田駅周辺において、<u>当地区はケヤキ並木や境川など地域の景観資源を生かし、北側の商業集積地とは異なる落ち着いた雰囲気を残しながら、新たな魅力を加え、活気や賑わいのある景観を実現するとともに、南北アクセスや快適性の向上を図ります。</u></p>	・記述の見直し
P 5	<p>5-4. 防災対策の充実</p> <p>一定規模以上の建物については、帰宅困難者の利用を想定した一時滞在施設や防災備蓄倉庫のほか、災害時にも活用できる広場などの誘導を図っていきます。</p>	<p>5-4. 防災対策の充実</p> <p><u>大規模地震等発生時の帰宅困難者への対応として、一時滞在施設や防災備蓄倉庫の確保を進めるほか、災害時の滞留者対策にも活用できる広場などの誘導を図ります。</u></p>	・記述の見直し